

令和6年2月13日

保護者の皆様へ

千葉市立星久喜小学校  
校長 植草 奈保美

## 学校評価結果について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、先日実施いたしました学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。皆様から頂いたご意見をもとに、来年度に向けて教育活動の一層の充実を図っていきたく思います。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。なお、紙面の都合上、抜粋しております。何卒、ご了承ください。

## 学校評価の考察

## 1 三者（児童・保護者・教職員）の比較から

## (1) 差が少ない項目（肯定的評価比率）

## 問6 安全指導

（児童 94%、保護者 95%、教職員 96%）

## 問9 子供の様子

（児童 95%、保護者 93%、教職員 92%）

## (2) 差が大きい項目（肯定的評価比率）

## 問5 人材活用

（児童 70%、保護者 86%、教職員 48%）

## 問2 基本的な生活習慣

（児童 86%、保護者 84%、教職員 96%）

## 2 上位項目（肯定的評価比率）

(1) 児童 問9 子供の様子 (95%)

問6 安全指導 (94%)

(2) 保護者 問6 安全指導 (95%)

問8 学校行事 (95%)

(3) 教職員 問2 基本的な生活習慣 (96%)

問6 安全指導 (96%)

## 下位項目（肯定的評価比率）

(1) 児童 問5 人材活用 (70%)

問3 健康管理体力向上 (84%)

(2) 保護者 問1 学習の定着 (82%)

問4 児童理解 (82%)

(3) 教職員 問5 人材活用 (48%)

問10 学校の様子 (80%)

【差が少ない項目】安全指導については、毎月行っている訓練（避難訓練、防犯訓練等）が安全意識を高めている。感染症による制限がなくなったおかげで、学習参観やPTAフェスティバルなど、保護者の方が子供たちの学校での様子を参観できる機会が多く取れている。

【差が大きい項目】人材活用については感染症が少しずつ収まり、外部人材を招いての授業は少しずつ増やしているが、学年によって大きな差ができてしまった。教育活動を深める人材活用をどの学年でも積極的に行っていきたい。基本的な生活習慣については、学校と家庭での認識の差が大きい。あいさつや言葉遣いなど繰り返し指導していく必要がある。

【上位項目】安全指導については、今年度、実際の場面に準じた訓練を徹底して行っている。繰り返し行う中で、改善点を見つけさらに安全意識が高まるようにしたい。学校行事については、感染症や熱中症を考慮したうえで、児童が成長し、満足できる行事を目指していきたい。

【下位項目】人材活用は、専門的な知識を学べる機会を、どの学年でも持てるようにし、かつ児童にその良さを味わえるように工夫していきたい。児童理解に関しては、教職員と児童が関われる機会を多くとり、お互いに話しやすい環境を整えていく必要がある。環境が整うことで、学習や生活に良い影響がでると考えられる。体育学習の改善以外にも体育委員会等の活動を充実し、体力の向上を図っていきたい。

学校評価アンケート自由記述より

様々なご意見をいただきありがとうございました。全てのご意見やご要望に対してではありませんが、今後の改善・検討の方向性を記させていただきます。

**【学習発表会等の振替について】**

「振替が急すぎる」「3、4日ずらしたところで感染状況や感染拡大のリスクは変わらない」「学級閉鎖のクラスのみ延期にしてほしい」「運動会のように事前に延期日を示してほしい」等のご意見をいただきました。振替の日程につきましては、感染症の状況、発表会の場合は児童のモチベーションを考慮して実施判断をしています。今後も、様々な状況を素早く判断し、できるだけ早くお伝えできるよう努力していきたいと思っております。今回の学習発表会のねらいの一つに、各学年の枠を超えて、児童同士で学びを伝え合える場を共有することがありました。コロナ禍では、人との交わりが極力避けられていたこともあり、なんとか交流できる場がないかと模索いたしました。そのため、学級閉鎖のクラスのみ延期は致しませんでした。結果的にすべてのクラスの学習発表会を保護者の皆様にご覧いただくことができませんでした。今回のご意見を参考にし、校内で検討していきたいと思っております。

**【すぐーるの配信について】**

「学校だより、学年だよりなどのお便りをすぐーるで配信してほしい」「学級閉鎖のお知らせと学習参観の振替が同一のお知らせで見辛かった」等のご意見をいただきました。すぐーるの活用につきましては少しずつ範囲を広げています。基本的にお返事をいただく手紙につきましては、紙（ベース）での配付にしています。今年度は、PTA 関係のお知らせや教育委員会からの手紙の一部をすぐーるで配信してきました。来年度は学校だよりや学年だよりの配信についても協議していきたいと思っております。また、情報をわかりやすく伝えられるよう努力をしていきたいと思っております。

**【安全面について】**

「交通、セキュリティ面で心配」「アンケートで危険個所だと思うところを記入しているが、結局反映されない」「誰でも校舎内に自由に入れてしまうのは不安」等のご意見をいただきました。通学路の安全については、PTA の方を中心に旗振り等をしてくださっています。危険個所のご意見につきましては、警察、中央・美浜土木事務所、教育委員会等に連絡をしています。すぐに対応していただけるものもあれば対応できないものもあります。引き続き各所管と連絡を取っていききたいと思います。校内の安全については門扉や昇降口を確実に閉めるなど徹底していききたいと思います。保護者の方が来校の際には、正面玄関より入っていただき、「来校者名簿」を記入の上、事務室に声をかけていただくようお願いいたします。

**【児童の様子について】**

「男女問わず口の悪い子が多い」「家庭では使わない言葉を家で使う」「挨拶等がしっかりとできていない」「クラス内で悪口を言ったり嫌がらせをしたりする児童がいる」等のご意見をいただきました。言葉は簡単に人を傷つけます。悪口を言った側はすぐに忘れてしまいますが、言われた側は心に傷を負ってしまいます。学校内で気になる児童の発言等がありましたら、声をかけていきます。ご家庭でも同様のご指導をお願いいたします。

### 【教職員について】

「児童への指導の仕方・内容」「ご家庭への連絡不足」「子供の悩みを話せる職員がいない」等のご意見がありました。問題が起これ、指導を要する際には、場合によって担任一人に対応するのではなく、学年主任、生徒指導主任、教務主任等が関わり指導を行っていきます。指導内容等にご不明な点がございましたら、その都度、担任もしくは学年主任、教務主任、管理職等にご連絡ください。学校と家庭で同じ方向性でお子様の成長を支援できればと思います。教職員は全職員で行う研修や年齢や経験年数に合わせた児童理解についての校外の研修を重ねています。校内の全体研修としては、今年度はアレルギー研修、CAP研修、ペップトーク研修等を行いました。教職員一人一人が力量を向上できるよう、これからも努力をしてまいります。

### 【感染症対策について】

「学級閉鎖が多い」「感染対策、予防する意識をもっと広める必要がある」「児童の自由意志ではあるがマスクの着用を促す、手指消毒の機会を増やすようにしてほしい」等のご意見をいただきました。学校では、引き続き換気を徹底していきます。校内放送では、毎朝放送委員が手指消毒について話しています。また感染状況を見て、すぐーる等で注意喚起をしてきたいと思ひます。熱中症に留意しながら、感染状況によってはマスク等を促していければと思ひます。

### 【学校の様子について】

「授業参観の日程が合わず、参観できない」「普段の授業の様子が見たい」等のご意見がありました。学校は特別な行事等で参観する方を制限している際でなければ、いつでも参観することができます。参観ご希望の場合は、事前に担任や管理職までご相談いただければありがたいです。来校の際には、安全面にも書かせていただきましたが、正面玄関より入っていただき、「来校者名簿」を記入の上、事務室に声をかけていただくようお願いいたします。

### 【その他】

「担任2人制にしてほしい」「副担任制度の導入を」「学級の人数を減らせば、より教師が細かくみられるのでは」等のご意見をいただきました。学級の人数やそれに伴う教職員の人数については、法律により定められています。学校独自で人数等を定めることができないことをご理解いただければと思ひます。

「プレハブ校舎はどのような計画で建てられたものなのか」というご質問がありました。プレハブ校舎は平成19年3月に完成いたしました。平成19年度は全児童数780名でした。その後平成21年度(852名)をピークに少しずつ減少してきております。人数の増加により、教室数が足りなくなり建設する形になっています。

令和5年度学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。いただいたご意見を基に、子供たちと教職員がいきいきと活動できるよう、来年度の教育課程等に生かしていきたいと思ひます。本校の学校目標「明るく たくましい 星の子」の実現に向け、全教職員で取り組んでいきたいと思ひます。引き続き、ご協力をお願いいたします。